

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	SOU FIRST 安慶名		
○保護者評価実施期間	R7 年 3 月 19 日 ~ R7 年 3 月 19 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	R7 年 3 月 19 日 ~ R7 年 3 月 22 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 3 月 21 日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様から「満足のいく支援が行われており、開所してまだ間もないが、子どもの成長を感じることができる」とのお声をいただいていること。	丁寧な療育を心がけ、子どもや職員が楽しめる環境作りを行なっている。また、保護者様とともに子どもの成長を喜びあえるような支援に努めている。	研修や社内交換研修で支援技術や知識を習得し、質の高い支援が提供できるよう努めていく。
2	元サッカー選手の職員が在籍しており、プロの視点からサッカーを指導することができる。また、運動に関する資格を持っているため、未就学児の運動面をサポートするアプローチも可能。	楽しみながら体を動かせるようサッカーを取り入れ、キックやシュートなどの基本動作を練習。サッカーを通じて児童の自己表現ができるよう、無理なく参加できる環境作りを行なっている。	SNSやニュースにてサッカーの様子を写真や動画で発信し、活動内容を広く知ってもらおう。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の未実施。	保護者会の開催・保護者同士の交流について、保護者から「わからない」との回答が多かった。会社のイベントや、今後の流れについて詳しい説明ができていなかった。	今後、会社主催の親子イベントの詳細説明や、保護者会開催に向けた説明を行なっていく。
2	主な活動スペースには限りがある。	活動内容の工夫や、事故防止・安全面への配慮が必要。大人数での集団活動ではぶつかるなど事故のリスクが高まる。児童の特性に合わせたスペースの確保など、配慮が必要。おもちゃや用具などの管理方法を工夫し、安全な環境を維持。	可動式ホワイトボード・収納棚を活用。必要に応じて空間を広く使えるようにしていく。おもちゃや用具の配置を工夫し、安全に活動できる環境を整える。屋外活動を取り入れ、活動の幅を広げる工夫を行う。室内遊びのルールを決め、危険を防止するための対策を行う。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練の未実施。	開所したばかりのため、未実施だが、保護者から「わからない」との回答が多かった。必要な訓練の実施の流れや目処について十分に説明できていなかった。	非常災害時の避難や訓練を計画し実施。訓練の実施予定や流れについて、保護者へ情報提供を行う。